



図1-2. 茨城県産クナシリジミガムシ雄個体 (1) および雄交尾器 (2)。

ガムシ *L. fragilis*, コモンシジミガムシ *L. oscillans*, コマルシジミガムシ *L. masatakai* の4種である (高野・大桃, 2000; 高野・大桃, 2008). シジミガムシとクナシリジミガムシは外部形態が類似しているため (上手, 2007), これまでシジミガムシとして記録されていた標本の中にクナシリジミガムシも混在している可能性がある。茨城県における本属の正確な分布状況を明らかにするためには、県内のシジミガムシ属の標本を見直す必要があるだろう。

末筆ではあるが、茨城県におけるシジミガムシ属の記録について教えてくださった大桃定洋博士, 原稿をご校閲いただいた筑波大生命環境系の横井智之助教には厚くお礼申し上げます。

#### 引用文献

- 上手雄貴, 2007. 日本産シジミガムシ属. 昆虫と自然, 42(2): 12-16.  
 高野 勉・大桃定洋, 2000. 茨城県産甲虫リスト. るりぼし, (23): 2-155.  
 高野 勉・大桃定洋, 2008. 茨城県産甲虫リスト補遺 (2). るりぼし, (36): 18-37.

(渡辺黎也 305-8572 つくば市天王台 1-1-1  
 筑波大学保全生態学研究室)  
 (e-mail: biolfc14.cb@gmail.com)

#### 【短報】岡山県におけるアヤスジミゾドロムシの採集記録

アヤスジミゾドロムシ *Graphelmis shirahatai* (Nomura) は全国的に記録の少ないヒメドロムシのひとつで, 環境省のレッドリスト2018では絶滅危惧IB類 (EN) に選定されている (環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2018). 吉富ほか (1999) によると, 山形・宮城・新潟・東京・愛知・兵庫の各県からの記録があるが, 近年の記録は愛知県の矢作川に限られていると書かれている. その後, 愛知県では矢作川水系のいくつかの河川で記録が追加され (市川, 2013), 島根県の斐伊川 (Hayashi, 2007) と神戸川の支流 (林ほか, 2011), 新潟県中越地区の信濃川水系の数か所 (Iwata, 2011; 岩田ほか, 2012) でも得られ, 生態的な知見も徐々に集約されてきている.

岡山県内においては, 河川環境データベース河川水辺の国勢調査 (国土交通省, 2018) で旭川水系において種名が記録されているのみで, 詳細なデータを伴った記録がない.

この度, 筆者らは以前から時々採集に訪れていた旭川周辺を調査していたところ, 脇流に沈んでいた流木より本種を確認したので報告する.

42exs., 岡山市中区 旭川水系, 4. VIII. 2018, 末長晴輝・山地治採集・保管 (図1).

流れのある浅い水中に落ちていた数本のヤナギ



図1. 岡山県産アヤスジミゾドロムシ (末長撮影)。



図2. アヤスジミゾドロムシの生息環境（末長撮影，写真一部加工）。



図3. 流木にしがみついたアヤスジミゾドロムシ（山地撮影）。

類と思われる流木（大半は直径10 cm × 長さ1.5 mほど）やタケ類の枯れ枝の表面から採集した（図2, 3）。本種は他のヒメドロムシに比べ脚のツメが大きく先端も鋭いようで、止まっている場所から取ろうとするとかなりの力でしがみつきます、容易には剥がれなかった。また、同所的にヨコミゾドロムシ *Leptelmis gracilis* Sharp やイブシアシナガドロムシ *Stenelmis nipponica* Nomura, アシナガミゾドロムシ *Stenelmis vulgaris* Nomura も得られたが、当該の場所はアヤスジミゾドロムシが圧倒的に多かった。多数が確認されたことから生息地である可能性も考えられ、瀬戸内海側唯一の近年の確認事例としても注目される。

今回の調査では1か所でしか得られなかったことと、容易にアクセスできる場所であることを勘案し、本報告では詳細な場所名は伏せることとした。しかしながら、岡山県下の三大河川（高梁川・旭川・吉井川）の中～下流域には同様な環境が豊富にあり、他に本種が生息している場所がある可能性は高いと思われるので、今後さらなる調査を実施したい。

末筆ながら、アヤスジミゾドロムシの採集方法

についてヒントを下さった北海道大学大学院の小川直記氏と富山市科学博物館の岩田朋文氏、本報の校閲をして下さった文化財虫菌害研究所の岩田泰幸氏と石川県ふれあい昆虫館の渡部晃平氏に厚くお礼申し上げる。

#### 引用文献

- Hayashi, M., 2007. Ecological notes on the adult stage of *Graphelmis shirahatai* (Nomura) (Coleoptera, Elmidae). *Elytra*, Tokyo, 35: 102-107.
- 林 成多・辻井要介・中野浩史・山口勝秀・越川敏樹, 2011. 島根県出雲市の河川に生息する水生生物. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (3): 1-108.
- 市川靖浩, 2013. 愛知県のアヤスジミゾドロムシについて. *三河生物*, (5): 55-58.
- Iwata, Y., 2011. Ecological notes on *Graphelmis shirahatai* (Nomura) (Coleoptera, Elmidae) and its Habitat in Niigata Prefecture, Honshu, Japan. *Elytra*, Tokyo, n. s., 1(1): 73-79.
- 岩田泰幸・渡貫修太郎・渡貫さとみ, 2012. 新潟県中越地区のアヤスジミゾドロムシ. *月刊むし*, (497): 31-35.
- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2018. 環境省レッドリスト2018の公表について. URL <https://www.env.go.jp/press/105504.html> (2018年9月4日アクセス)
- 国土交通省, 2018. 河川環境データベース 河川水辺の国勢調査. URL <http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/index.html> (2018年8月29日アクセス)
- 吉富博之・白金晶子・疋田直之, 1999. 矢作川水系のヒメドロムシ. *矢作川研究*, (3): 95-116.

（末長晴輝 710-0807 倉敷市西阿知町 833-8  
サンシャイン A205 号室）

（山地 治 701-1221 岡山市北区芳賀 5116-11）

#### 昆虫学研究器具は「志賀昆虫」へ

日本ではじめて出来たステンレス製有頭昆虫針 00, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6号, 有頭ダブル針も出来ました。その他、採集、製作器具一切豊富に取り揃えております。

〒142-0051

東京都品川区平塚2丁目5番8号

郵便振替 00130-4-21129

電話 (03) 5858-6401 (ムシは一番)

FAX (03) 3784-6464

（カタログ贈呈）（株）志賀昆虫普及社